

ポスターを審査して

審査委員 栃木県立鹿沼東高等学校長 梅澤 希人

現在世界では、伐採や環境汚染のために、1 分間にサッカーコート 20 面分もの広さの森林がなくなっているそうです。森林は、二酸化炭素の吸収・貯蔵、大気浄化、水源涵養、治山治水、野生生物の保護、木材の供給等、様々な重要な役割を担っています。

こうした森林破壊が心配される中、鹿沼市の人工林率はなんと 76.3%、県内屈指とのこと。また、先日、栗野小学校を始め、木材を活かした市内の小中学校の校舎をいくつも見学させていただく機会がありました。地元の木材を使用した、魅力的で、温かみのある校舎でした。木を育て、守り、活かす。森林のまち、林業のまち、木工のまちとして、まさに木とともに生きている鹿沼市です。こうした鹿沼市で学ぶ児童・生徒達から今回 199 点ものポスター原画の応募がありました。

どの作品も、一生懸命考えて発想し、丹念に描いて、森林愛護を表現しようとしていることがわかりました。そして、小中高ともに、表現力のみでなく、森林愛護の思い、優しさが強く表現された作品が入賞作品として選ばれたと思います。審査員の顔がほころぶような楽しい審査となりました。